

笛口小だより



令和7年11月28日
新潟市立笛口小学校 学校だより

ホームページ「日々のブログ」もぜひご覧ください。

「がんばれる」を支えるもの

教頭

後期が始まってすぐの10月17日に「けやきっ子遠足」が行われました。

この遠足を行うにあたり、学校では子どもたちの「可能性・尊重・挑戦」の力を育むために、目指す子どもの姿を設定しました。

【可能性】建設的な考えを出してよりよい遠足にしようとしている。自分にできることを進んで行っている。

【尊重】班の仲間のことを考えながら行先を話し合って決めようとしている。友達を励ましたり、相手の気持ちに寄り添ったりしながら目的地を目指している。

【挑戦】自分たちで決めた目的地と学校の往復をあきらめずに歩いている。

そして、この遠足を行うにあたり、もう一つ決めておいたことがあります。

「大人はサポート役に徹する」ということでした。

危険が伴う場合を除き、大人は子どもたちの力を信じ、任せ、見守ることを基本とし、子どもたちの考え方行動する姿、困難に立ち向かおうとする姿、思いやる姿などのよい姿があれば、すかさず言葉で伝える（評価する）というものです。ボランティアとして参加してくださる多くの保護者や地域の方に事前にその趣旨を説明し、お願ひをして当日を迎えました。

秋晴れのさわやかな天候の下での遠足を終え、学校に到着し体育館で閉会式を待っている最中に、低学年のある子と偶然目が合いました。「私、がんばったよ！」うれしそうに話しかけてくれました。「がんばったね。すごいね。」と言いかけたところで、その子は矢継ぎ早に話し始めました。「6年生の○○さんが『もう歩けないようならリュックを持つよ』って言ってくれたの。他の学年の人も同じ学年の友達も『大丈夫？』って言ってくれて元気が出たよ。学校に着いたら、ボランティアの○○さんが『がんばったね、偉かったね』って言ってくれてうれしかったよ。それには、朝おうちの人が『楽しい1日になるといいね』って言っていたのだけれど、今日は超超超楽しい日だった！」

誇らしげな表情で熱く語るこの子が最後まで歩き通すことができたのは、本人の挑戦する心はもちろんのこと、多くの人のあたたかな言葉やかかわりが背中を押してくれたのだと想像ができました。一人で長く歩くのはしんどいけれども、一人ではないと気付くことでがんばれる、その子のもつ可能性や尊重、挑戦の力が發揮されると、子どもたちの姿から学んだ1日でした。

この遠足を行うにあたり、多くの保護者や地域の方にご協力をいただきました。子どもたちのよさを引き出してくださいましたことに深く感謝を申し上げます。

学校教育ビジョンで目指す3つの資質・能力
「可能性を伸ばす力」「尊重し合う力」「挑戦する力」について、
けやきっ子遠足を振り返って、子どもたちが自分の成長を確かめました。
※振り返りカードの児童の記述を掲載します。

1年

10月17日に、ぼくは、みなとぴあでオオスズメバチを見つけました。いっぱいあるいてつかれたけれど、もっといっぱいあるけると思いました。おにごっこやだるまさんがころんだをして、たのしかったです。（可能性・挑戦）

1年

10月17日に、ぼくは、りゅーとぴあで、はんちょうがバックをもっててくれてすてきなところを見つけました。2ふんくらいもっててくれて、からだがげんきになったので、そのあとじぶんでもちました。（尊重・挑戦）

1年

はんちょうやおともだちといっしょにあそんだり、たべたり、あるいはたりするのができてくれたしかったです。（可能性・尊重）

1年

とちゅうで、あしのうらがいたくなつたけど、みんなにおうえんされたから、「がんばろう。」とおもって、さいごまであるけました。（可能性・挑戦）

2年

同じはんの人がほかのはんの人がころんでいたときに、「だいじょうぶ。」といついて、すごいなとおもいました。

ときメッセのエレベーターにのつたとき、けしきがきれいで、たのしかったです。ときメッセで、はんのみんなけしきをみたとき、きれいだなとおもいました。（可能性・尊重）

2年

れつかはなれなかつたけど、あいだがあいたから、こんどのえんそくは、あいだをあけないようにする。



ときメッセの31かいのところまでいったのがたのしかつた。

さいごまで、あきらめずにいって、たいへんだったけど、たっせいかんがあってうれしかつた。（可能性・挑戦）

2年

わたしのはんの、5・6年生が、けがをした3年生のにもつや、1年生のにもつをもっていました。さいご、つらいなと思ったけど、「楽しかつた。」と言えました。

うれしかつたことは、6年生に「にもつもってあげようか。」と声をかけてもらったことです。

たのしかつたことは、はんのみんなと、おにごっこをしたことです。しりとりもたのしかつたです。（可能性・尊重）

3年

はん長さんが、1年生に、「大じょうぶ？」など声をかけていたので、次からは、わたしもつられてそうな子がいたら声をかけようと思いました。

おべんとうを食べているときに、おなじはんの人たちと、たくさんお話がてきて、楽しかったです。おべんとうを初めて全部食べれたので、とてもうれしかったです。

おにごっこで、さいごまでにげきれて、うれしかったです。（可能性・尊重・挑戦）

3年

ぼくは、けやきっ子遠足のみんなでいっしょに食べたおべん当が楽しかったです。おべん当は、ぼくとお母さんで作ったおべん当だから、すごくおいしかったです。

もう1つは、歩くことです。ぼくは、歩くよりは走るほうがとくいだけど、歩くことでゆっくり話せて、歩くのもよくて楽しかったです。（可能性・尊重・挑戦）

4年

1年生は、はじめての遠足でいっぱい歩いてつかれていると思ったら、最後まで荷物を持って目的地まで歩いていたのがすごいなと思いました。

私も最後まで歩ききるために、6年生のじじにしたがってゴールをめざしました。6年生はみんながつかれているときに、「もう少しだよ。」とはげましのことばをかけてくれて、みんなを引っぱっていってくれました。（可能性・尊重・挑戦）



5年

けやきっ子遠足で歩いている時に、列が乱れていたら教えてあげたり、あぶない場所では注意をしたりすることができました。

と中、1年生が転んでしまった時に、6年生と交代しながらその子のカバンを持ってあげて、学校まで無事着くことができました。

この遠足では長いきょりを歩きます。弱音をはかずにがんばって歩いたと思います。帰りは班のみんながつかれて、どよ～んと暗い感じになっていたので、もりあげようとしました。長いきょりを歩いたり、おにごっこをしたり、とても楽しい遠足でした。（可能性・尊重・挑戦）

5年

私は、1年生のリュックを持ったり、「がんばれ。」と声をかけたりしました。

お昼の時間は、「おいしそうだね。」とか、「おべんとうの中でどれが一番好き？」と聞いて、少しでもお昼の時間を楽しめるようにしました。実際も少し楽しめました。

自由時間は、班の人と遊んだり、きょうだい班の人と遊んだりしてつかれたけど、最高の思い出になりました。

最後まで自分のやるべきことを考えながら遠足に参加しました。わたしは、この遠足でたくさんのこと学びました。そして、助け合いは大事だと改めて思いました。

来年は最高学年として、もっと自分のやるべきこと、みんなの役に立てることをさがして遠足に参加しようと思います。（可能性・尊重・挑戦）

6年

可能性では、2年生の子のバックや5年生の子のバックを交代交代に持ってあげました。尊重では、主に班のみんなに声をかけました。「体調の悪い人」や「バック持ってほしい人」という声掛けを心がけました。あと、班のみんなに「あともうちょっとだから一緒にがんばろう」と応援しました。

挑戦では、声掛けはもちろん、下の学年の子たちの歩くスピードも合わせました。ちゃんとついてきているのか不安だったのでこまめに後ろを見ました。

みんなをまとめるということは大変だったけど、みんながちゃんと指示を聞いてくれたおかげで遠足を成功に終わらすことができました。（可能性・尊重・挑戦）

6年

自分がけやきっ子遠足をしてみて特にできることは、2つあります。

1つ目は尊重です。理由は、班の人気がつかれて歩けなくなりそうな時、「大丈夫だよ。」「もうすぐ着くよ。」などの色々な声掛けをし、班の人をはげましたからです。

2つ目は、可能性です。理由は、ぼくは班の人をまとめることや、責任をもつということがとても苦手でした。しかし、このけやきっ子遠足をしてみたら、班の人たちに声をかけてまとめることなど苦手なこともできるようになりました。

このけやきっ子遠足を通して、自分の苦手なことを少しでも克服できたと思います。これからも、自分の苦手なことに挑戦して苦手を少しでもなくしていきたいです。（可能性・尊重・挑戦）



（編集等： 笹口小学校 評価・発信委員会）

笹口小学校ブログ



毎日更新しています！

スマートフォンからパソコンからぜひご覧ください。

QRコード



URL <https://blog.city-niigata.ed.jp/keyaki-c/>